

電子添文

アプリ「添文ナビ」でお読みください



(01)04562191602716

医療機器認証番号：304ADBZX00004000

CITIZEN

取扱説明書

保証書付

シチズン電子体温計

わき専用予測式（約30秒）＋実測式

CTEB723CA　：　電子体温計＋専用アタッチメント
CTEB722C　　：　電子体温計

- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。
- 取扱説明書および電子化された医療機器添付文書に従わない使用がなされた場合および勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。
- 本製品は、測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する装置です。

 この表示の欄は人が傷害を負ったり物的損害が想定される内容ですので、ご注意ください。

- 本製品の特長
- 約 30 秒で測れる予測＋実測式体温計
 - Bluetooth® 搭載、アプリ「Health Scan」対応
 - わきにはさみやすくズレにくい専用アタッチメント「びたッチメント」対応
 - （CTEB723CA には専用アタッチメント「びたッチメント」が付属しています。CTEB722C は専用アタッチメント「びたッチメント」は別売りです。）
 - 本体は防水・抗菌仕様（「お手入れ上の注意」を参照してください。）
 - 大きな文字で見やすい液晶画面
 - 暗いところでも測定結果が見えるバックライト機能つき

安全上のお願ひ

ご使用前に、必ずお読みください。

 危険

人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危険が想定される場合

 警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

 注意

人が傷害を負ったり、物的損害 * の発生する可能性が想定される場合

* 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

 強制

必ず実行していただく「強制」内容です。

 禁止

してはいけない「禁止」内容です。

 危険

 ！

電池を飲み込んだ場合には、化学やけど、粘膜の貫通など、死に至ることがあり、直ちに取らだす必要があるため、すぐに医師の指示に従ってください。

 ！

電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。
→誤飲のおそれがあります。

 警告

 ！

検温結果の自己判断、および治療は危険です。
必ず医師の指導に従ってください。
→自己判断は、病気の悪化につながるおそれがあります。

 ！

電池、電池カバーなどお子様が飲み込まないように充分注意してください。
誤って電池、電池カバーなどを飲み込んでしまった場合、あるいは飲み込んだおそれがある場合は、医師に連絡し、指示を受けてください。
→けがなどの原因になります。

 ！

電池の液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流して、医師の治療を受けてください。
→けがなどの原因になります。

 ！

航空機内や病院など、無線機器の使用を制限された区域では使用しないでください。
→事故や故障の原因になります。

 ！

乳幼児の手の届かないところに保管してください。
→事故や故障の原因になります。

 ！

お子様だけで使わせないでください。
→事故や故障の原因になります。

 ！

測温部（先端）をかまないでください。
→事故や故障の原因になります。

 ！

測温部（先端）で目を突かないようにしてください。
→けがなどの原因になります。

 注意

 ！

体温計を修理、改造、分解しないでください。
→事故や故障の原因になります。

 ！

測温部（先端）を持って振ったりしないでください。
→事故や故障の原因になります。

 ！

人の体温測定以外には使用しないでください。
→故障の原因になります。

 ！

携帯電話などの近くで使用したり、強い静電気や電磁波、磁石などに近づけたりしないでください。
→誤作動をおこすおそれがあります。

 ！

高温や直射日光の当たるところ、湿気の多いところ、ほこりの多いところ、腐食性のガスが発生する場所などでの保管は避けてください。
→事故や故障の原因になります。

 ！

水中に放置したり、水道からの流水に直接あてないでください。

 ！

無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
→故障の原因となります。

 ！

電池の＋の向きを間違えないようにしてください。
→漏液、発熱、破裂などおこし、本体が破損する原因になります。

保証規定

- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。
- ・誤ったご使用またはお取り扱いによる故障または損傷。
 - ・保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
 - ・火災、地震、水害その他の天災地変や、異常電圧、指定以外の電源、衝撃などによる故障または損傷。
 - ・保証書のご提示が無い場合。
 - ・保証書のお買い上げ日、販売店名などの記載に不備がある場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ・ご使用後の外表面のキズ、破損、外装部品、付属品、消耗品などの交換。
- ※お買い上げの販売店にご持参いただく場合の諸費用や弊社にご送付いただく場合の送料などは、お客様の負担となります。
- ・保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。
 - ・本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- This warranty is valid only in Japan.

保証書

CITIZEN

本書は、お客様が取扱説明書に従って正しく使用したにもかかわらず、万一故障した場合、本保証規定に従ってお買い上げ後 1 年間は無料修理をおこなうことをお約束するものです。お客様に記入いただきました本保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

商品コード： CTEB723CA CTEB722C

お名前：

TEL： — —

ご住所：

※以下につきましては、必ず販売店にてご記入、ご捺印をお願いいたします。

お買い上げ日： 年 月 日

販売店名および住所：

保証期間： お買い上げ日より 1 年間

製造販売元
シチズン・システムズ株式会社
〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12

検査証：本製品は弊社の定められた検査に合格しております。

2302

本製品の仕様

販 売 名 式

型 式

種 類

分 類

検 温 部 位

定格および電源

消 費 電 力

測 温 範 囲

最大許容誤差

体 温 表 示

防 水 性

電 池 寿 命

通 信 方 式

付 加 機 能

耐 用 期 間

使 用 環 境

保 管 条 件

寸 法

質 量

付 属 品

シチズン電子体温計 CTEB7XXC シリーズ

CTEB723CA、CTEB722C

予測式 一般用 防湿形

内部電源機器・BF 形装着部 

わき下

DC 3.0 V ー＝ (ー＝：直流)、CR2025 タイプ相当 1 個

3.5 mW

32.0 ～ 42.0℃

± 0.1℃ (恒温水槽で実測測定した場合)

数字 3 桁＋℃、表示単位 0.1℃

IPX7、JIS T 1140 による (防湿形)

予測検温：約 2,500 回 実測検温：約 1,500 回

Bluetooth® Low Energy Ver.5.1

メモリー機能、電源自動 OFF、バックライト

5 年【自己認証 (当社データ) による】

周囲温度：10 ～ 40℃ 相対湿度：30 ～ 85% RH

周囲温度：－ 20 ～ 60℃ 相対湿度：95% RH 以下

約 31.5 mm (幅) × 126.5 mm (長さ) × 15 mm (厚さ)

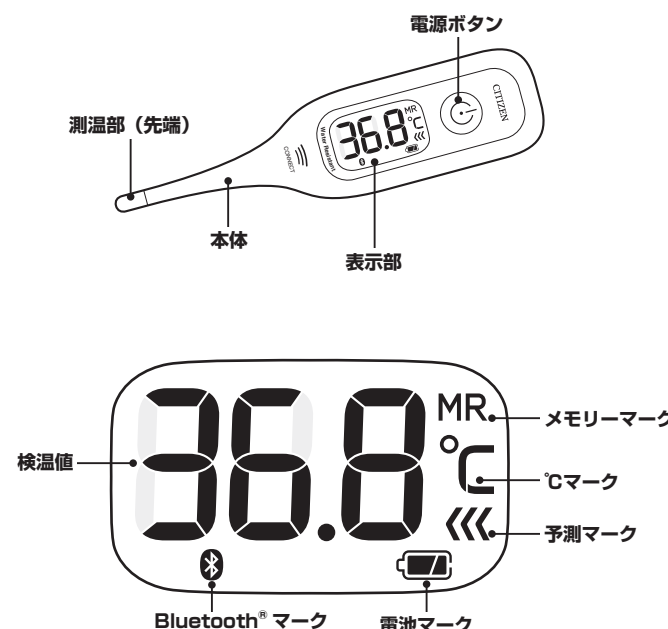
専用アタッチメント装着時 約 35 mm (幅) × 128 mm (長さ) × 18 mm (厚さ)

約 26.0 g (電池含む) 専用アタッチメント装着時 約 35.5 g

収納ケース、モニター用電池 (内蔵)、取扱説明書／保証書／EMD 技術資料、アプリ・通信説明書、専用アタッチメント「びたッチメント」(CTEB723CA のみ)

※電子化された医療機器添付文書は弊社ホームページのダウンロード一覧をご覧ください。
<https://www.citizen-systems.co.jp/health/support/download/>
※本製品、および取り出した古い電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールにもとづいて正しく処理してください。
※本製品は EMD 規格 IEC 60601-1-2:2014 + A1:2020 に適合しています。
※本製品は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。
※ IPX7 とは、IEC 60529 によって規定された水に対する保護を示しており、1 m の深さに 30 分間浸漬させても有害な影響を生じる量の水が製品内に侵入されないように保護されています。
※ CITIZEN、健康予約、びたッチメント、Health Scan は、シチズン時計株式会社の登録商標または商標です。
※ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。シチズン・システムズ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
※本製品ならびに本サービスに記載されている会社名、商品・サービス名は、一般に各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ



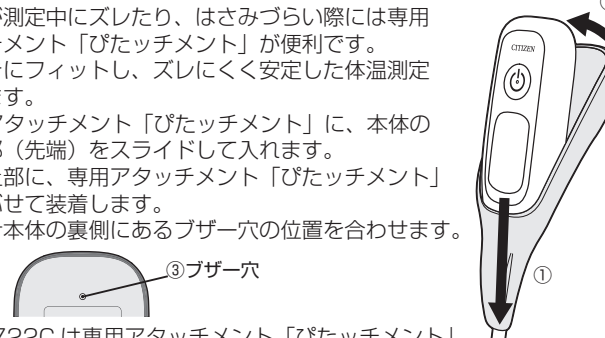
専用アタッチメント「びたッチメント」型番：AT-CT201

(CTEB723CA には専用アタッチメント「びたッチメント」が付属しています。CTEB722C は専用アタッチメント「びたッチメント」が別売りです。お求めはお買い上げの販売店、または弊社お客様相談室までお問い合わせください。)

専用アタッチメント「びたッチメント」装着方法

体温計が測定中にズレたり、はさみづらい際には専用アタッチメント「びたッチメント」が便利です。よりわきにフィットし、ズレにくく安定した体温測定ができます。

- ①専用アタッチメント「びたッチメント」に、本体の測温部（先端）をスライドして入れます。
- ②本体上部に、専用アタッチメント「びたッチメント」をかぶせて装着します。
- ③体温計本体の裏側にあるブザー穴の位置を合わせます。



(CTEB722C は専用アタッチメント「びたッチメント」が別売りです。)

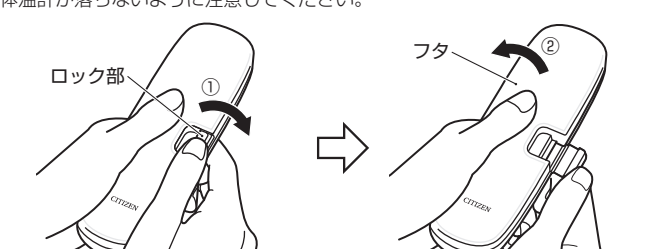
体温計の正しいはさみかた



●専用アタッチメント「びたッチメント」装着時も同じようにはさんでください。

収納ケースの開けかた

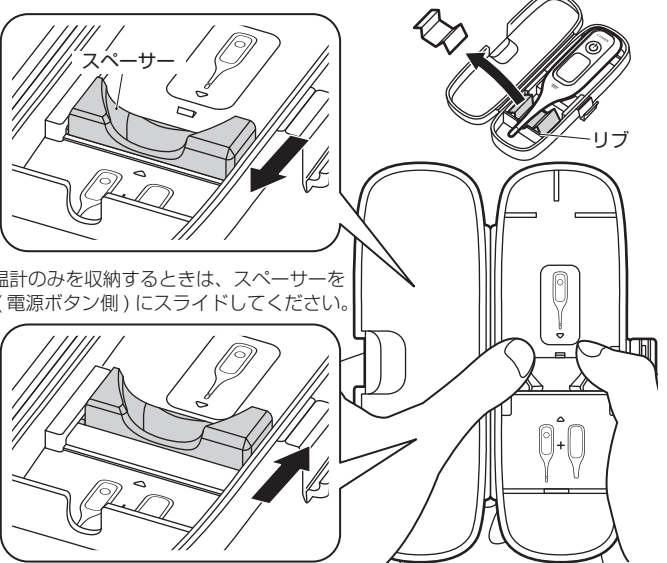
CITIZEN の文字がある面を表にして、ロック部を矢印の方向①に動かしてから、収納ケースのフタを矢印②の方向に開けてください。
※体温計が落ちないように注意してください。



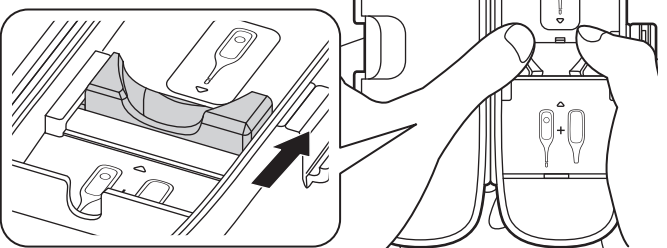
体温計の収納方法

体温計に専用アタッチメント「びたッチメント」を装着した状態で収納するときは、スパーサーを下（先端側）にスライドしてください。

リップとスパーサーの間の梱包部品を取り外してください。(CTEB722C のみ)



体温計のみを収納するときは、スパーサーを上（電源ボタン側）にスライドしてください。



※スライドさせる際はけがをしないよう注意してください。

体温ワンポイントメモ

●いつもより検温値が高いとき

3 ～ 5 分程度の実測検温値と比べていませんか？
予測検温値はわきを閉じてからわきの下が十分に温まる 10 分後の温度（平衡温）を予測して表示します。

●人の体温

大人の平熱は 36.8℃程度で、幼児は大人より高めめの体温と言われています。また、1 日の中での体温の変動も大きくなっています。
ふだんの検温で平熱の範囲を確認しておきましょう。

●検温はわきの下の正しい位置で

検温値はわきのさはむ位置で異なりますので、常にわきの下の正しい位置で測定してください。(「体温計の正しいはさみかた」を参照してください。)

●平熱を知っておきましょう

平熱は個人差もあるのでふだんから検温を心がけ、元気なときの体温を知っておきましょう。

表 3 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティー

ガイダンスおよび製造業者による宣言－電磁イミュニティ			
シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 Vrms (150 kHz～80 MHz) 6 Vrms (150 kHz～80 MHz間のISM及びアマチュア無線帯域)	非適用	携帯形および移動形RF通信機器は、シチズン電子体温計CTEB7XXCシリーズのいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離 ここでPIは、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大出力電力定格であり、dはメートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査a)によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲b)における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じることがある。
放射 RF IEC 61000-4-3	10 V/m (80 MHz～2.7 GHz)	10 V/m	
			d = 0.6√P 80 MHz～2.7 GHz
			
備考1 80 MHzおよび800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。			
備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝播に影響する。			
a) 例えば無線（携帯/コードレス）電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FMラジオ放送およびU/V放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に数値的に予測することはできない。固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズが使用される場所の正確な電磁界強度が、適用されるRF適合性が上記のレベルを超過する場合、正常動作を検証するためにシチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズを監視すること。異常な動作が発見される場合、追加の手段、例えば、シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズの向き又は場所を変えることが必要となることがある。			
b) 周波数範囲150 kHz～80 MHzで、電磁界強度は3 V/m未満であることが望ましい。			

表 4 ― 携帯形および移動形RF通信機器と機器又はシチズン電子体温計CTEB7XXCシリーズとの間の推奨分離距離 ―

携帯形および移動形RF通信機器とシチズン電子体温計CTEB7XXCシリーズとの間の推奨分離距離				
シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズの顧客又は使用者は、通信機器の最大出力にもとづく次に推奨している携帯形および移動形RF通信機器（送信機）とシチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズとの間の最小距離を、下記に推奨される通信機器の最大出力に従い維持することで、電磁干渉を避けるようにできる。				
送信機の最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数による分離距離 (m)			
150 kHz～80 MHz 3Vrms	150 kHz～80 MHz 6Vrms	80 MHz～2.7 GHz d = 0.6√P		
0.01	非適用	非適用	0.06	
0.1	非適用	非適用	0.19	
1	非適用	非適用	0.6	
10	非適用	非適用	1.9	
100	非適用	非適用	6	

上記以外の最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表した推奨分離距離dは、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここでPIは、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力である。
備考1 80 MHzおよび800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。
備考2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝播に影響する。

表 5 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティー

―ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティー						
シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。						
試験周波数 (MHz)	周波数帯域 ^{a)} (MHz)	サービス ^{a)}	変調 ^{a)}	最大電力 (W)	距離 (m)	試験レベル (V/m)
385	380-390	TETRA 400	パルス変調 ^{a)} 18Hz	1.8	0.3	27
450	430-470	GMRS 460 FRS 460	FM ^{a)} ±5kHz偏差 1kHz正弦波	2	0.3	28
710, 745, 780	704-787	LTE Band 13,17	パルス変調 ^{a)} 217Hz	0.2	0.3	9
810, 870, 930	800-960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 ^{a)} 18Hz	2	0.3	28
1720, 1845, 1970	1700-1990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 ^{a)} 217Hz	2	0.3	28
2450	2400-2570	Bluetooth WLAN 802.11b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 ^{a)} 217Hz	2	0.3	28
5240, 5500, 5785	5100-5800	WLAN 802.11a/n	パルス変調 ^{a)} 217Hz	0.2	0.3	9
備考 イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合には、送信アンテナとシチズン電子体温計CTEB7XXCシリーズとの距離を1mにしてみよう。1mの試験距離はIEC 61000-4-3で許容されている。 a) サービスによってはアップリンク周波数だけが含まれる。 b) 搬送波は50％デュティーサイクル矩形波信号を用いて変調しなければならない。 c) FM変調の代わりとして、18 Hzでの50％パルス変調を用いてもよい。これは、実際の変調を表すわけではないが、最悪状態と考えられるためである。						

表 6 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティー

ガイダンスおよび製造業者による宣言－電磁イミュニティー			
シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。			
近接磁界 IEC 61000-4-39	試験周波数	変調	イミュニティ試験レベル (A/m)
	30 kHz ^{a)}	CW	8
	134.2 kHz	パルス変調 ^{a)} 2.1 kHz	65 ^{a)}
	13.56 MHz	パルス変調 ^{a)} 50 kHz	7.5 ^{a)}
備考： a) この試験は、在宅医療環境で使用されることを意図するシチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズにのみ適用される。 b) 搬送波は、50％デュティーサイクル矩形波信号を用いて変調しなければならない。 c) 変調をかける前の実効値 (r.m.s.)			

- 水洗いをおこなう場合は、洗面器などに貯めた水に体温計を浸してから、汚れを拭き取るようにしてください。
本品は、IPX7 および JIS T 1140 に準じた防浸規格に適合しておりますが、本規格では流水などの高い水圧や、長時間の浸漬については保証されておりません。
- 専用アタッチメント「びたタッチメント」は本体から取り外して、中性洗剤で洗いきれいな水ですすぎ、水分をよく拭き取ってください。

電波法について

- 本製品には、電波法の2.4GHz 帯小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備が内蔵されています。
☎ ☎ 018-200152
- 内蔵されている無線設備の分解・修理・改造をしないでください。電波法に抵触するおそれがあります。
- 本製品は日本国内においてのみ使用できます。海外で使用する、その国の電波法に抵触するおそれがあります。

電波干渉について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、ならびに免許を要するアマチュア無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、本製品の運用（電波の発射）を停止してください。
- 3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様相談室にお問い合わせください。

故障を発見した場合はただちに使用を中止し、分解せず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室にお問合せください。	受付時間：10～17時 月～金（祝祭日、年末年始を除く）
シチズン・システムズ株式会社	0120-88-6295
お客様相談室	通話料金は無料です。
E-mail:support@systems.citizen.co.jp	https://csj.citizen.co.jp

EMD 技術資料

シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは、医用電気機器の安全使用のために要求されているEMD（電磁妨害）規格、IEC 60601-1-2:2014+A1:2020に適合している装置です。EMD規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。IEC 60601-1-2:2014+A1:2020（5.2.2項）において、機器が安全に機能するためのEMD環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、技術的な説明を以下に記載します。（詳細は、IEC 60601-1-2:2014+A1:2020をご参照ください。）
本製品をお使いいただく際には、医療機器添付文書および取扱説明書をよく読んでお使いください。

EMD（電磁妨害）とは	
EMD（電磁妨害）とは、電子機器の性能を低下させる可能性のある電磁現象のことです。医用電気機器には、次の二つの事項を満たす能力が要求されます。 ・周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション） ・周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）	
EMD（電磁妨害）にかかわる技術的な説明	
医用電気機器は、EMDに関して特別な注意を必要とし、次に記載するEMDの情報に従って使用する必要があります。	
警 告	・本機器は電磁妨害（EMD）に関して、特別な注意が必要であり、EMD技術資料に記載されたEMD情報にもとづいて使用しなければならない。 ・携帯および移動無線周波（RF）通信機器により本機器は影響を受けることがあるので、30cm以上離して使用することが望ましい。 ・本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。 ・アクセサリ/オプション品は、弊社の指定品を使用すること。指定品以外のアクセサリ/オプション品を使用すると電磁放射波（エミッション）が増加したり妨害に対するイミュニティが低下したりすることがある。

表 1 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁エミッションー

ガイダンスおよび製造業者による宣言－電磁エミッションー			
シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズの顧客又は使用者は、下記の環境で使用されることを確認すること。			
エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス	
RFエミッション CISPR11	グループ1	シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。従って、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。	
RFエミッション CISPR11	クラスB	シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは、家庭用施設および家庭目的に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設を含むすべての施設での使用に適する。	
高周波エミッション IEC 61000-3-2	非適用		
電圧変動/フリッカエミッション IEC 61000-3-3	非適用		

表 2 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティー

―ガイダンスおよび製造業者による宣言－電磁イミュニティ				
シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン電子体温計 CTEB7XXCシリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。				
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス	
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±15 kV 気中	±8 kV 接触 ±15 kV 気中	床は木材、コンクリート又はセラミックスであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は最低30%であること。	
電氣的ファーストランジェント/バース IEC 61000-4-4	±2 kV 電源ライン ±1 kV 入出力ライン	非適用	非適用	
サージ IEC 61000-4-5	±1 kV ラインーライン間 ±2 kV ラインー接地間	非適用	非適用	
電源ラインでの電圧ディップ、 短時間停電および電圧変動 IEC 61000-4-11	0%UT (0.5 サイクル) 0%UT (1 サイクル) 70%UT (25/30 サイクル) 0%UT (250/300 サイクル)	非適用	非適用	
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電力周波数磁界は、典型的な商用又は病院環境内の典型的な場所でのレベルにあること。	
備考 UTは、検査レベルを加える前の交流電源電圧である。				

- 電源を切り、本体を収納ケースに入れます。**
電源ボタンを押して電源を切ります。
ブザーが「ピー」と鳴り、バックライトが約 1 秒間点灯します。スマートフォンへの転送機能が有効 (ON) の場合は転送が始まり、表示部が点滅します。転送が終了したら電源が切れます。
※「体温計の収納方法」を参照してください。
●転送が始まったあとに再度電源ボタンを押すと、転送が中止され電源が切れます。
●電源を切り忘れても、検温開始から約 20 分後に自動的に電源が切れます。電源自動 OFF の場合転送を行いません。

- ⚠ 測定ができないときは**
故障と疑われる場合には、ます下記の項目について点検をお願いします。それでも正常に作動しないときは、保証規定をお読みの上、修理・サービスをお申しつけください。

こんなとき	点検するところ / 状態	直しかた
電源ボタンを押しても何も表示しない	電池が正しく入っていますか？	「電池交換の方法と注意」を参照して、正しく入れなおしてください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
	・測温部（先端）がわきの下から外れていませんか？	一度電源を切った後、再度測定してください。測定中は体温計が動かないようにしてください。
	・測定前の周囲温度が高くありませんか？ ・連続して測定していませんか？ ・℃が点滅する前にわきの下にはさんでいませんか？	測温部（先端）を水で冷やしてから、本取扱説明書の操作方法に従い、再度測定してください。
	・センサー回路の断線などで計測回路に異常があった場合	弊社お客様相談室にご相談ください。
	・本体が正常に作動していません	弊社お客様相談室にご相談ください。

※転送機能が無効 (OFF) の場合、Bluetooth[®] マークは表示しません。

電池交換の方法と注意

- 電池交換の手順**
- ①コインなどを電池カバーの溝に入れ、「◀ OPEN」の方向（反時計回り）に電池カバー側の○印と本体側の○印が合うまで（約 130°）まわしてください。
 - ②電池カバーが上がってきますので、手で取り外してください。
 - ③古い電池を取り外してください。
 - ④電池の⊕側を上にして新しい電池をセットしてください。
 - ⑤電池カバー側の○印と本体側の○印を合わせて、カバーを上から押さえながらコインなどで「CLOSE ▶」の方向（時計回り）に元の位置までまわしてください。
- ※電池交換後は、再度ペアリングを行ってください。

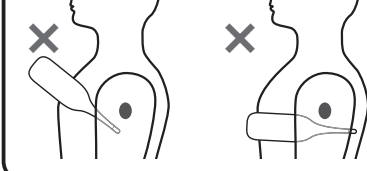
電池交換の注意
⚠ 電池および電池カバーなどはお子様などがけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。万一電池を飲み込んだ場合には、化学やけど、粘膜の貫通など、死に至ることがあり、直ちに取ります必要があるため、すぐに医師の指示に従ってください。 ●ペアリングをする前に測定したデータの日時情報は正しく表示されません。 ● が点滅したら、お早めに交換してください。◻ が点灯すると、検温ができなくなります。 ●電池は CR2025 です。なお、付属の電池はモニター用（機能確認用）ですので電池寿命が短い場合があります。 ●使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。 ●長期間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。

⚠ お手入れ上の注意

- 測温部（先端）を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼなどで軽く拭いてください。また、測温部（先端）を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯（50℃を超えるお湯）で消毒しないでください。故障の原因になります。なお、表示部およびその周囲は、消毒用アルコールを含ませたガーゼなどで拭かないでください。表示部の曇りの原因になります。
- ご使用後は必ず清潔にして（水分をよく拭き取って）付属の収納ケースに保管してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジン、アルキルシアンミエチルグリシン塩酸塩、クローヘキシジン、グルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウムなどは絶対に使わないでください。変色、変質、変形や故障の原因になります。
- イソプロパノールやエタノールに長時間（およそ 30 分以上）浸漬させた場合、体温計が変形する可能性があります。
- 超音波洗浄はしないでください。故障の原因になります。

こんなときは正しく測れません

- 入浴・運動・飲食直後など**
入浴、運動、食事、お茶などのあととは体温が上がっています。約 30 分間は検温を避けてください。
- わき下以外での検温**
本製品はわき専用です。わき下以外（口中など）で使しないでください。
- 正しい位置に入っていない場合**



- 汗をかいた状態**
汗でぬれていると実際よりも低い体温を示すことがあります。汗をかいたままの検温は避けてください。測る前に、わきの下の汗を乾いたタオルなどで軽く拭き取ってください。
- 起床直後**
起床直後に動いた場合は、比較的激しく体温が上昇しますので、検温は避けてください。起床直後に検温する場合は、動き出す前の安静時か 30 分以上経ってから測定してください。
- 検温中に動く**
検温中に動くとき正しく測定できません。検温中は安静にしてください。

スマホとのペアリング設定

別紙の「アプリ・通信説明書 シチズン電子体温計 CTEB7XXC シリーズ」を参照してください。

転送機能の有効 / 無効の設定

- 電源が切れている状態で、電源ボタンを 2 秒以上押し続けます。**
電源ボタンを押し続けると、「On」（転送機能有効）と「Off」（転送機能無効）が交互に切り替わります。
- 転送機能有効

転送機能無効
- 2 秒以上
- 希望する設定のときに電源ボタンを離します。**
電源ボタンを離したときのモードに設定されます。

体温の測りかた

スマートフォンへの転送機能が有効 (ON) の場合
体温を測定するときに専用アプリ「Health Scan」を起動しましょう。測定が完了し、電源ボタンを押すと測定データが自動的にスマートフォンに転送されます。詳しくは、別紙の「アプリ・通信説明書 シチズン電子体温計 CTEB7XXC シリーズ」を参照してください。

- 電源を入れます。**
体温計を収納ケースから取り出し、電源ボタンを押します。バックライトが約 4 秒間点灯します。
※購入後、初めて使用するときに表示される前回値（メモリー）は製品検査時の値で、異常値ではありません。
- 正しく測るために

 - 測る前に、わきの下の汗を乾いたタオルなどで軽く拭き取ってください。

表示部が点灯します

 - ※このとき表示するは電池交換のお知らせではありません。

前回の測定値（メモリー）を表示します

 - ※前回値が実測検温の場合は予測マーク「」は表示しません。
 - ※転送機能が無効 (OFF) の場合、Bluetooth[®] マークは表示しません。

測定準備完了

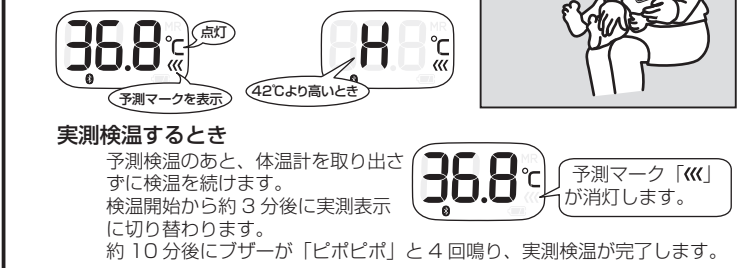
 - ※ L が表示しないときは、測温部（先端）が 32℃以上になっている可能性があります。その場合は、測温部（先端）を水で冷やしてから、再度測定してください。
 - ※転送機能が無効 (OFF) の場合、Bluetooth[®] マークは表示しません。
- 全点灯

メモリー

測定準備完了

2 わきの下にはさみ体温を測定します。

わきの下のくぼみの中心部に体温計の測温部（先端）があたるように、斜め下方向（30°）からはさんでわきをしっかりと閉じます。予測検温中は、予測マーク「」を表示します。約 30 秒で予測検温が完了します。℃が点滅から点灯へ変わり、ブザーが「ピポピポ」と 4 回鳴ったら取り出します。



※測定完了後に再度測定する場合は、電源を切り 1 分以上放置してからご使用ください。
※冬季など体温計が冷えている場合、体温計を周囲温度になじませてから測定してください。
※低温環境で測定した場合、検温完了までの時間が長くなる場合があります。